



夏を
迎えに

■ みんなで大好きな海をきれいにしよう！

大野海岸で清掃活動と避難訓練を行いました



6月2日(火)、広田町の大野海岸で、広田小学校や高田高校の児童・生徒、教職員、地域住民ら約250人が参加し、砂浜の清掃活動が行われました。



楽しみながら海岸清掃を行う児童たち

本清掃活動は、美しい海を守るために毎年実施。本年も7月18日(土)に予定されている海開きに向けて開催され、参加者は流木や漂着ごみを拾い集め、海岸の美化に取り組みました。清掃活動終了後には、大地震と津波の発生を想定した避難訓練も実施され、参加者は避難経路などを確認しました。

清掃活動に参加した菅野心香さん(広田小3年)は「砂浜がきれいになって良かった。疲れたけれどもとても楽しかった」と笑顔を見せていました。

楽しく
おしゃべり

■ 市制70周年を華やかに彩る

東北しゃべり亭 出張版 i n 陸前高田



東北しゃべり亭の公開収録が6月6日(土)に奇跡の一本松ホールで行われ、市内外から約570人の観客が訪れました。

本収録は、本市の市制70周年を記念して実施。番組MCの小田井涼平さんと長瀬萌々子さん、歌手の



和やかな雰囲気で行われていました

福田こうへいさんをゲストに迎えて収録されました。6月20日(土)に放送された同番組では、福田さんの生歌をはじめ、幼少期の思い出や民謡歌手だった父への思い出についてたっぷり語っていらっやいました。

公開収録に訪れた阿部建光さん(大船渡市)は「しゃべり亭はいつも楽しみに見ている。今日は福田こうへいさんの素晴らしい生歌を聴けてよかった。放送が楽しみです」と嬉しそうに話していました。

「東北しゃべり亭は、NHK総合で土曜日、午前8時15分から放送されています」

輪になって

■ 本番へ向け 華やかにステップ

チャオチャオ陸前高田道中おどり練習会



7月18日(土)に開催を予定しているチャオチャオ陸前高田道中おどりの体験会が、6月6日(土)にアバッセたかたパブリックスペースで開催され、約30人の参加者が踊りを練習しました。



みんなで輪になって踊りました

体験会では、始めに道中おどりの歴史やこれまでのチャオチャオの様子を解説。その後、「チャオチャオ陸前高田」「陸前高田音頭」「寄さこい見さこい陸前高田」の3曲を練習しました。参加者は、講師から振り付けに込められた意味を教わりながら熱心に体を動かし、最後には全員で輪になって3曲の踊りを披露しました。

体験会に参加した佐々木花珠さん(大船渡市)は「すぐに振り付けを覚えられた。鳴子を使った踊りが楽しかった」と満足気に語り、本番に向けて期待を膨らませていました。

最後まで
全力で

■ 市内小中学校で運動会シーズン

力を合わせてベストをつくした運動会



気仙小学校の運動会の様子

5月14日(木)から23日(土)にかけて、市内各小中学校で運動会が開催されました。

気仙小学校(大田友博校長)では、全校児童59人が「ベストをつくせ! チーム丸!」をスローガンに競技に取り組みました。徒競走やリレーに真剣に挑む姿、綱引きやダンスなどで息を合わせる姿からは、子どもたちの大きな成長が感じられました。

赤組・白組それぞれが一生懸命取り組んだ応援合戦では、空いっばいに力強い声援が響き渡り、全力を尽くした子どもたちに温かい拍手が送られました。

思いを
言葉に

■ 一人一人の描いたビジョンが重なり、街の未来を創り上げる

ビジョンズフェスが開催されました



本市が持つ可能性や市内を舞台に活動する人たちのビジョンを掛け合わせ、新しい未来を共創するイベント「ビジョンズフェス」が、5月24日(日)にアバッセたかたパブリックスペースで開催されました。



ビジョンを語る登壇者と聴講者

イベントでは、「賑わう街をつくる」「はたらくの未来を考える」「地域に眠る可能性」といった3つのトークテーマで、6グループに分かれた21人の登壇者が、市内外から訪れた多くの来場者と言葉を交わしながら、本市の魅力と未来について話し合いました。

聴講に訪れた与那覇竜太さん(東京都)は「陸前高田市の可能性を探るには最適な時間だった。自分自身にとっても刺激となるイベントだったので、これをきっかけに様々なことへチャレンジしたい」と意気込んでいました。

絆の響き

■ 名古屋フィルハーモニー交響楽団による

金管五重奏コンサート



本年度4回目となる名古屋フィルハーモニー交響楽団による金管五重奏コンサートが、5月24日(日)に奇跡の一本松ホールで開催され、市内外から209人が来場しました。

当日は、トランペットやホルン、トロンボーンといった金管楽器が織りなす華やかで迫力のある音



コンサートの様子

色がホール全体に響き渡りました。演奏の合間には、各奏者が自身の楽器の成り立ちや特徴をユーモアを交えて紹介するコーナーもあり、会場は終始和やかな雰囲気に包まれました。

演奏に聞き入っていた来場者は「素晴らしい演奏で感動した。自分も演奏に挑戦してみたい」と目を輝かせて話していました。